

花粉交配用ミツバチの取扱注意事項

ミツバチを正しく扱い、消耗を防ぎ、長持ちさせましょう

1：導入時期

ハウス内に入れても1週間ぐらいは飛び回るだけで、花に止まらないことがありますので、開花1週間前までに設置するようにして下さい。

2：設置場所

ミツバチは巣箱の位置を覚えて方角を認知します。1度巣箱を据えつけたら、みだりに場所を変えないで下さい。迷って巣箱に帰れなくなります。

3：設置時間と巣門の解放

配達されたらすぐの早朝か、日没後にハウスへ持ち込んで下さい。
静かに設置し、巣門を開けたら離れ、蜂が落ちつくまで近づかないで下さい。

4：箱の金網窓

輸送時の通気用です。ハウス内に設置したら、後ろ窓を閉じて下さい。

5：ミツバチの訪花

暖かい時間帯に50m程度の小型ハウスで2～3匹、大型でも数匹が訪花行動をしていれば充分です。逆に、働く蜂が多すぎると果実に障害がでる過訪花現象がおこります。

6：適温

ハウス内の温度は16～25°Cが適温です。30°C以上になるとミツバチは遠くに飛びたがり、ハウスの天井にぶつかって死んでしまいます。

7：農薬

ミツバチ導入後、基本的に殺虫剤は使えません。
万一必要な場合、使用する農薬の説明書をよくお読みいただき、記載の期間は巣箱をハウス外に出し、巣門を開放して下さい。温度が上がるハウス内で巣門を閉めた状態でおくことは厳禁です。